



(上) きれいな砂浜だから、はだしでも平気だよ！



(右) 大自然の大きな砂場で砂遊び♪

砂浜を走ろう

5月2日、神川小学校で「砂浜を走ろう」が行われました。この行事は、地元と自然に親しみ、児童に郷土の一員としての自覚を持ってもらおうと毎年この時期に行われています。

当日は、「ふるさと美化活動」として、学校から神川海岸までの道のりを数班に別れ、空き缶等のごみ拾いを行い、ゴミ袋2袋分のごみを回収しました。

海岸については、思い思いに宝探しをしたり、砂遊びをした後に全員でかけっこやドッジボール、相撲を行いました。

子どもたちは、いつもと違う足元の中で砂に足をとられながらも一生懸命、楽しそうに遊び、自然と触れ合っていました。

子供たちのためにも、豊かな自然という財産を残していきたいものです。

田車



5月24日、神川中学校の生徒39名が、先日稲を植えた神川っ子たんぼの除草作業を田車で行いました。現在は、アルミ製の田車が主流ですが、この日は昔ながらの木製の田車もあり、生徒たちはそれぞれ、稲を倒さないように慎重に田車を押していました。

とても利にかなっている田車を見ていると、先人たちの偉大さに敬服させられると同時に、このような農法も受け継いでいかなければならないと感じました。

山登りに行こう



荒西山山頂付近にて

4月29日、馬場地区公民館子ども育成部が主催した荒西山登山が行われました。今回で4回目を数える本活動は、上は中学生から下は幼稚園児までの参加があり、幼稚園児には険しい山道もありましたがみんなで助け合いながら参加者全員が自分の足で山頂まで登りました。山頂では、みんな充実した素敵な笑顔を見せていました。

この活動は、馬場地区公民館のみでなくどなたでも参加を受け付けていますので来年は是非参加してみてくださいはいかがでしょうか。

たばこ耕作振興会



総会風景

4月20日、錦江町たばこ耕作振興会の総会が行われました。

会では、役員改選が行われ大坪一夫さんが新会長に選任されたほか、今後の運営方法などが話し合われました。中でも、たばこの話になると一気に熱を帯び、たばこ農家の方々の熱心さがヒシヒシと伝わってきました。

平成19年度は、耕作者82名、作付面積156.45haで、**平成18年産葉たばこ販売・全国市町村別販売代金第26位に入っており**、県内外から優良産地として高い評価を受けています。